



TITLE:

付録

AUTHOR(S):

---

CITATION:

付録. CIRAS discussion paper No.80 : 社会主義的近代とイスラーム・ジェンダー・家族 2 : 装いと規範 --現代におけるムスリム女性の選択とその行方 2018, 80: 47-47

ISSUE DATE:

2018-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/234786>

RIGHT:

© Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University

ワークショップ

装いと規範

日時：2018年2月10日(土)13:00-17:00

場所：京都大学東南アジア地域研究研究所

稲盛財団記念館2階213号室(セミナー室)

プログラム

13:00-13:10 趣旨説明

帯谷知可(京都大学東南アジア地域研究研究所)

13:10-14:00 報告1

ニカーブをまとうまで

——現代イスラームにおける「自己選択」の諸相

後藤絵美(東京大学)

14:00-14:50 報告2

ルモルとヒジョブの境界

——社会主義的世俗主義を経たイスラーム・ヴェール問題

帯谷知可

(コーヒープレイク)

15:00-15:50 報告3

インドネシアにおけるハラール化粧品の隆盛と女性たちの美意識

野中葉(慶應義塾大学)

15:50-16:10 コメント

粕谷元(日本大学)

和崎聖日(中部大学)

16:10-17:00

ディスカッション

主 催：\*京都大学東南アジア地域研究研究所CIRAS共同利用共同研究・個別ユニット「社会主義を経たイスラーム地域のジェンダー・家族・モダニティ」(代表：帯谷知可)、\*新学術領域研究「グローバル関係学」(グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて——関係性中心の融合型人文社会科学の確立) B01「規範とアイデンティティ」(代表：酒井啓子)、\*CIRAS環太平洋研究ハブ形成拠点

共 催：\*CIRAS共同利用共同研究・複合ユニット「秩序再編の地域連関」(代表：村上勇介)、\*同個別ユニット「体制転換過程の比較研究」(代表：末近浩太、村上勇介)